

兵庫
県
保
険
医
協
会

西宮
芦屋
支部
ニ
ュ
ー
ス

N o. 326

2015・9・15

発行
〒662
-0832

兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部
西宮市甲風園一―五 法貴皮膚科内
連絡先 兵庫県保険医協会 電話〇七八(三九三)一八〇三

第35回支部総会

会員交流、支部活性化にさらなるご協力を

7月18日、西宮市勤労会館で第35回支部総会を開催。総会記念市民公開講演会では「100人の村 あなたもここに生きています」と題してドイツ文学翻訳家・口承文芸研究家の池田香代子氏の講演が行われ、医療関係者・市民ら180人が参加した。谷端美香先生(芦屋市・高橋歯科医院)が司会を務め、大森公一先生(西宮市・大森内科医院)が開会あいさつ、法貴憲支部長(西宮市・法貴皮膚科)が謝辞を述べた。

総会議事では、北井明先生(芦屋市・北井内科クリニック)の議長のもと、林田英隆先生(西宮市・林田クリニック)が活動報告・方針案と、新支部役員体制について提案を行い、承認された。法貴支部長からの支部長再任のあいさつ文と、谷端先生からの感想文を掲載する。

〈支部長再任のあいさつ〉

支部活動へのさらなるご協力・参加をお願いいたします

支部長 法貴 憲

7月18日開催の支部総会で昨年度の会務報告と新年度の方針の確認とあわせて、支部世話人、評議員・予備評議員の改選が行われ、支部長の任にあらためてつくことになりました。今後もよりしくお願いいたします。

総会記念講演はドイツ文学翻訳家の池田香代子氏を講師に「100人の村 私もここに生きています」と題し、市民ら180人の参加で盛況に終えました。他



池田氏は安保関連法案をめぐる現在の政治状況等について熱く語り、医療関係者・市民ら180人が聞き入った

方、総会後の世話人会では、支部会員の協会行事への参加が支部総会をふくめて最近少なくなっていることを率直に意見交換する中で、会員の交流を促し支部を活性化させるためにはどのようなすればよいか議論しております。

来年度の支部総会を一つの節目に、日常的な支部世話人活動をより多くの会員の皆様と取り組みながら盛り上げていくために、今後も日常診療や交流に役立つ催しを開催して参りたいので、ぜひ皆様にもご参加・協力とご意見を賜りましたら幸甚です。

〈谷端先生からの感想文〉

西宮・芦屋支部の総会記念市民公開講演会で今回も司会をさせていただきました。有名なベストセラー作家にもかかわらず、耳にすることはあっても実際に本を読んだことがなかったので大変申し訳なく思った次第でした。しかし、池田香代子さんの講演はそんなことは関係なく、世界に対する日本の姿勢について語られ、大変感動いたしました。

現時点でも「国際平和支援法案」「平和安全法制整備法案」についていろいろな議論がされています。それらに関しても深く、鋭い見解を示してくださいました。

池田さんは様々な方向から、もちろん歴史的な方向も含めて教えてくださったので、大変有意義な時間になったと思います。今回の続編として次回もう少し多くの時間をかけて池田さんに講演していただきたいと痛切に思っています。

【芦屋市・高橋歯科医院 谷端 美香】



市民公開講演会で司会を務めた谷端先生(右)と、謝辞を述べる法貴支部長(左)

協会西宮・芦屋支部 新役員名簿

(敬称略)

1、支部役員

〈支部長〉

法貴 憲

〈副支部長〉

加藤隆久、北井 明、林田英隆、広川恵一

〈世話人〉

伊賀幹二、岩下敬正、川崎史寛、川野悦司、北垣幸央、佐々木健陽、多田梢、土山雅人、中田正基、広本秀治、前田信証、三浦一樹、宮崎睦雄、宮崎義彦、村上博、森 博雄、安岡真奈美、谷端美香、藤森隆史

〈相談役〉

堅田 均、幸原 久、森下敬司、大森公一、法西 浩

2、評議員・予備評議員

〈評議員〉

川野悦司、北垣幸央、広本秀治、宮崎睦雄、村上博、(歯科)谷端美香、藤森隆史

〈予備評議員〉

岩下敬正、川崎史寛、前田信証、三浦一樹

世話人会だより

西宮・芦屋支部は8月28日にフレンテ西宮で世話人会を開催。5人が参加した。

【報告】

①第35回支部総会(7・18)

②被災地物産展(7・25)

③健康カフェ(8・22)

【予定・企画】

①第15回胸部X・P読影会

②英語の診療 Medical English #44

③新規開業医交流会

④院内感染対策研修会(BBPコース)

⑤保険請求事務講習会(西宮会場)

⑥第25回日常診療ガイドライン

【協会行事】

①保団連第30回医療研究フォーラム(10・10・11)

②第24回日常診療経験交流会(10・25)

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

第32回漢方研究会

基礎から応用まで幅広い勉強会

7月11日、協会会議室で第32回漢方研究会を開催。「慢性胃炎と機能性ディスペプシア」ガイドラインからみた漢方薬の可能性」をテーマに、兵庫医科大学内科学消化内科講師の大島忠之先生が講師を務め、医師・薬剤師ら37人が参加した。司会を務めたウイング調剤薬局の長光由紀先生からの感想文を掲載する。



機能性ディスペプシアについてガイドライン作成委員の立場から分かりやすい解説がされた

恒例の西宮神社会館をあいにく確保できず、協会6階会議室(神戸元町)での開催となりましたが、大勢の方にご参加をいただきました。ありがとうございました。

今回は「慢性胃炎と機能性ディスペプシア」という演題で、ガイドライン機能性消化管障害(FD)作成委員会の委員を務めておられる兵庫医科大学内科学消化内科の大島忠之先生にお話をうかがいました。

漢方研究会ではありませんが薬剤師の参加も多く、まず機能性ディスペプシアについて解説していただきました。簡単に言うとな機能性(良くわからん)ディスペプシア(上腹部症状)ということだそうです。胃の不快感を訴える方は多くて「胃が痛む」「胃がもたれる」「げっぷが出る」など胃にまつわる言葉もたくさんあります。胃の機能は「食物を一時的に蓄える」「栄養として吸収しやすい状態(粥状)にして消化を助ける」「胃酸の力で食物に付着した細菌を殺菌する」「ゆっくと食物を十二指腸へ送る」などです。

日本人の5人に1人にディスペプシア症状があり、その内4人に1人が治療されて

英語で診療 Medical English #43

ロールプレイの緊張感が一番の目玉

7月17日、西宮医療会館で英語で診療 Medical English #43を開催。「Dermatological Field 皮膚科領域 皮膚の症状、成人型アトピー性皮膚炎、帯状疱疹」をテーマに、Robert Conroy氏が講師、坂尾福光先生(西宮市・ビューハイッククリニック)がアドバイザーを務め、医師ら7人が参加した。参加者からいただいた感想文を掲載する。



ロールプレイ形式で医師と患者のやり取りを訳しながら皮膚科領域の言い回しを学んだ

実は私は、普段の業務で英語を話す機会にはありません。そんな私がこの学習会に参加してもいいのだろうかという気持ちも少しありましたが、私の大半を占める好奇心が勝り、参加を続けています。

学習会は思ったより少人数で、病名・症状などの単語や診察場面での会話など、まさに医療スタッフが必要とするような英語ばかりでした。

専門用語の発音や細かいニュアンスの違いなど、日常英会話のレッスンでは学べないことが出てくるので、とても勉強になります。

また、数回前から始まったロールプレイ形式のスピーキングのコーナーでは、本物の医療通訳士になったように、日本人の医師と外国人の患者のやり取りをみんな順番に訳します。これが本当に緊張します(この学習会の一番の目玉だと、個人的には思っているのですが)。今回から、事前に予習ができるようにと資料が配布されましたので、心の準備もできるようになりました。「たま

いるそうです。「痛い」という不安(心のケアも含めて)の治療となります。さてピロリ除菌はFDの治療として有効か?というところで、先生は13人の除菌で1人の胃の辛い症状が取れると教えてくださいました。これからピロリ除菌をするという方へご説明ができますね。ちなみにバイアスピリンは飲んでいて90人中1人が有効だそうです。

ラットの試験で、胃は食べると幽門部がギュッと閉まり胃底部が膨らみ食物をためることができるようです。大食いでは有名なギャル曽根さんはかなり胃底部が膨らむ(テレビ放映された)ので、たくさんのお腹を膨らませることができるといいます。人間の体は不思議ですね。

ところで機能性ディスペプシアのガイドラインでは二次治療として漢方薬が選択できるそうで「六君子湯」を挙げられました。胃を膨らませる効果が期待できて食後膨満感に良いそうです。冷えがあれば「人参湯」、痛みがあれば「安中散」、熱があれば「半夏瀉心湯」、ガスがあると「半夏厚朴湯」と教えていただきました。基礎から漢方への応用と幅広く学ばせていただきました。大島先生ありがとうございました。

【伊丹市・ウイング調剤薬局 長光由紀】

にはこうゆう緊張感っていいよなあ」と思いつつ参加しています。

勤務の関係から、私はいつも午前診と午後診の間の時間を縫う様に往復しています。学習会よりも移動時間の方が長いかかっており、今回は台風11号の余波にも見舞われてしまいました。それでも3〜4ヶ月に1度の学習会をいつも楽しみにしています。

これからも細く長く続いていってほしいなと思っています。

【長田区・ふれあい薬局板宿 藤井妙子】

第15回胸部X-P読影会

日時: 10月22日(木) 20時~

会場: 西宮渡辺心臓・血管センター

講演: 「診断に難渋したケース(仮)」

講師: 尼崎市・はら内科クリニック 原秀樹先生

講演後は参加の先生に持ち寄っていただいた胸部写真の検討会を行います。検討したい胸部写真をご持参ください。